

関 連 地 域 に 学 習	地域区分	学びの基本 学習	地域の背景 学習	地域課題の 認識	地域課題の 解決
	庄内	○			
	他地域		○	○	○

《交流文化系 メディア情報コース》

教員氏名	広瀬雄二	最大受入人数	7 名
テーマ(予定)	《首尾良く進めるための科学》 ・ 地域に存在する価値ある情報の発掘と発信 ・ イベントなどで人が集まるしかけの考案 ・ Web アクセシビリティを考えたみんなにやさしいデザイン ・ しんどい時間を減らすには ・ チーム力を上げるための情報伝達とは ・ 「スマホ」などを介して小中高で楽しく学べるシステム その他、「自由でオープンであること」を重視したテーマならどんなものでも可。		
この専門演習の ねらい・到達目標	・ 計画・調査・立案・設計・実装・実験・検証・論述の力をつける。 ・ 「なぜそうなるのか」を理解できるようにする。 ・ 自力で調べて解決する力をつける。 ・ 卒業論文をしっかりと作成できるようにする。		
この専門演習の 運営方法	共通テーマの学習を輪講形式で、個人テーマ学習を各自のペースで進め卒業研究につなげる。 見学は火曜 17:00 202 教室まで。		
選考方法	やる気のある者、楽しむことに貪欲な者優先で迎える。向き不向きなどについて事前に面談を行なうので、必ず yuuji@koeki-u.ac.jp 宛に問い合わせること。 月曜 5 限以降、火曜 6 限、金曜 5 限以降なら B-3 研究室に直接来ても面談できる可能性が高い。 選考が必要な場合は簡単な調査報告書の作成力を見る。		
成績評価の 方法と基準	出席具合と各自に与えられた課題の達成度を評価する。 イベントの企画力やサポート力も重視する。		
関連科目	必須ではないが、情報関連の選択科目を履修しておくことが望ましい。 履修していない場合は必要科目をできるだけ早い時期に履修すること。		
その他 (大学院との関係や 履修上の注意点等)	コンピュータに使われるのではなく、自分がコンピュータを従えるための知識を身に付けよう。 http://roy/~yuuji/seminar/ も参照のこと。		